

改正建築士法の講習会を終了して

本部事務局

昨年6月と12月に建築士法等の一部が改正、公布され、その改正内容等についての講習会を開催した。5月8日・14日の広島会場、5月10日福山会場を合わせて、400名余りの参加があった。

広島県建築指導室の担当者から今回の改正内容について、ポイントを押さえた説明があり、参加者にとっては、自身の資格に直結する内容でもあり、皆熱心に受講していた。しかしながら、まだはっきりした方向が出ていない点もあり、引き続き今後の動向には、なお一層の注視が望まれる。



支部だより 尾道支部 尾道の町並み調査報告書発行

支部長 元廣 清志

尾道市歴史的建造物及び町並み調査委員会から、2006(平成18)年度町並み調査の報告書が発行されました。尾道支部長として委員会に参加したので、その概要部分をご紹介します。今年度も引き続き調査が進められることです。関心のある方は下記にお問い合わせ下さい。

尾道市企画部世界遺産推進課

☎ 0848-25-7312

2006(平成十八)年度 尾道市歴史的建造物及び町並み調査

尾道の町並み：調査結果の概要

調査の目的と方法

本調査は、尾道をより住みやすい町として発展させるにあたって、町の魅力を再発見し、後世に伝えてゆくための基礎的な情報を得るために実施した。尾道市では、景観法を受けた景観計画が策定されるなど景観形成やまちづくりの先進地として注目を集めている。調査は、町並みや建築単体といった比較的中小規模の景観を構成する地域の資源を対象にした。歴史的建造物の所在や分布状況、建築時期、様式、構造などを記録・整理することにより、尾道の建造物や町並みの特徴を明らかにした。加えて、尾道の歴史的建造物保全の可能性を探るとともに、地域の今後の進め方についても検討を加えた。

本調査による主な結果

- I. 尾道には、江戸期から現代に至るまでの建築物が多数認められた。これらは、時代と地域の建築文化の特徴を卓越的に留めていることがこれまでの調査で明らかになった。
- II. 歴史的建造物は、市民および訪問者とともに価値あるものとして評価し、訪問者も歴史的建造物や景観にひかれて訪問していることが分かった。
- III. 歴史的建造物も空き屋化や廃却の傾向にあるが、市民、訪問者ともに保存を望んでおり、空き屋への入居を望むなど活用要求が高いことが分かった。

今後のとりくみの方向性

- I. 【建造物調査の継続】 尾道の歴史的建造物及び町並みの学術的調査を継続し、より精緻に尾道の建造物の卓越性が検証されるべきである。
- II. 【健全な整備の検討】 尾道の歴史的建造物の今後の維持管理の方法を、とりわけ面的保全の仕組み作りが検討されるべきである。
- III. 【市民の情報の共有】 市民を含めた、より広い人々が尾道の歴史的建造物の卓越性を共感できるような機会と場の整備が進められるべきである。

なおIに該当する、具体的な調査事項は次のようなものが考えられる。

1. 建築調査の継続：より多くの建造物を対象とし総合的な価値評価を行う
2. 社会調査の展開：面的保全の具体的な内容に関する市民アンケートの実施
3. 歴史的形成過程の分析：GISデータを用いた都市形成過程の詳細分析
4. 町並み景観の評価：景観評価手法を用いた地域固有の景観要素の分析
5. 面的保全の可能性についての地区設定や景観形成のシミュレーション

2007 Information Calendar 6月・7月の行事予定

6 June

- 2 土・中四国ブロック「青年・女性建築士の集い」(岡山市)
- 6 水・支部対抗ゴルフ大会
(主幹:県北支部)
- 12 火・青年部例会(呉地区支部)
- 13 水・青年部定例会(尾道支部)
- 17 日・支部ソフトボール大会(三原支部)
- 21 木・総務委員会(呉地区支部)
- 23 土・一級建築士製図対策講座
- 24 日・(福山支部青年部会)
- 27 水・景観法について
(呉地区支部女性部会)

7 July

- 1 日・二級建築士試験・学科
(県立広島大広島キャンパス)
- 11 水・青年部定例会(尾道支部)
- 13 金・連合会「全国女性建築士連絡協議会」(青森)
- 22 日・一級・木造建築士試験・学科
(県立広島大広島キャンパス)
- 29 日・尾道地区建設関係ソーシャル大会(尾道支部)

あなたの作品で表紙を飾ってみませんか？

随时、表紙用の写真を募集しています。写真(プリント、ネガ、データ)2~3点を設計概要、設計趣旨(400字程度)と一緒にお送りください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。

社団法人
広島県建築士会

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47

広島県情報プラザ5F

TEL (082) 244-6830(代)

FAX (082) 244-3840

mail : info@k-hiroshima.or.jp

URL : http://www.k-hiroshima.or.jp/

MONTHLY 建築士



表紙写真について



「津島医院」改築工事

- 設計／磯井和雄建築設計事務所
- 施行／(株)坂田工務店
- 所在地／三次市三和町敷名
- 規模／地上2階建て
- 構造／木造
- 敷地面積／2,285 m²
- 延床面積／404.5 m²
- 竣工／2006年10月

津島医院は、地域医療に長年携わってこられた内科・皮膚科・小児科医院です。在宅診療など高齢者から子供まで、患者さんに優しい医院として地域に親しまれてきた診療所です。

約30年前、先代院長が国道沿いに医院を移されました。西日や車の騒音、駐車場不足に悩まれ、医院の東奥地を造成して建て替えを計画されました。

敷地の周辺には水田や山林の緑が多く、赤瓦屋根の民家が点在する、ゆったりとした環境の中になります。「医院らしくない医院を」との院長のご希望もあり、診療所らしくない外観としました。来待瓦に漆喰壁という、この辺りの伝統様式である伊達2階造りとし、周辺の自然風景や町並みに融合しながらも地域に根ざす医院としての落ち着いた存在感を表現しました。

内部にはスロープや手摺り、引き戸や多目的トイレを設け、床暖房が設備された待合室には大黒柱や梁を見せる設計としました。豊コーナーには感染症患者用の特別待合室を設けるなど、高齢者や子供に優しく、くつろげる空間にしました。

また、患者さんに安らぎを与えるよう、医院の周りに雑木林風の庭を配し、敷地内に周辺の農村風景を取り込むなどして、待合室や診察室、点滴室などから四季折々の自然を感じることができる医院を設計しました。

磯井 和雄



締切間近です!

第50回建築士会全国大会 「北海道大会」のご案内

「建築士」4月号に掲載のとおり、今年の全国大会は9月8日に北海道帯広市で開催されます。ぜひ、多数ご参加下さい。

参加申込は各所属支部で取りまとめます。「建築士」4月号の大会参加申込書を、6月11日(月)までに支部にご提出下さい。

参加者 → 各支部 → 本部

6/11締切

6/15締切

お知らせ 一級建築士試験 申込状況について

5月7日～11日まで一級建築士試験の受験申込の受付を行いました。申込状況は以下のとおりです。

(受付会場：広島県情報プラザ)

	対面	インターネット 申込 (4/16～27)	計	合計
学科	720	397	1,117	1,174
製図	19	38	57	

お知らせ 建築基準法等の改正講習会

先月号の会報誌と共にお知らせしておりますが、下記のとおり「建築基準法等の一部改正（建築物の安全性の確保）政省令等の講習会」を開催致します。福山会場と6月14日の広島会場は定員に達しました。6月15日の

広島会場についても残席わずかです。あらかじめご確認の上、お申し込みください。

リーフレット・申込書については、当会HPからもダウンロードできます。<http://www.k-hiroshima.or.jp/>

	福山	広島①	広島②
期日	6月12日(火)	6月14日(木)	6月15日(金)
時間		10:00～16:00(受付9:30～)	
会場	ウェルサンピア福山	広島県情報プラザ地下多目的ホール	
定員	150名	各日180名	
受講料	会員：11,000円 (広島県建築士会および広島県建築士事務所協会会員) 一般：13,000円		
テキスト	平成19年6月20日施行 改正建築基準法・建築士法及び関係政省令等の解説(約780P)		

広島県の文化財

不動院金堂

- 指 定 国指定
種 別 国宝
種 類 建造物
所 在 地 広島市東区牛田新町
員 数 1棟
指定年月日 明治33年(1900)4月7日
(重要文化財指定)
昭和33年(1958)2月8日
(国宝指定)
構造形式 柱行三間、梁間四間、一重、裳階付、入母屋造、こけら葺法量
公開状況 外観は常時公開
交通案内 ○アストラムライン「不動院駅」下車、東へ約300m
○「広島バスセンター」又はJR「広島駅」から「戸坂・高陽方面行」バスで「不動院」下車、東へ約300m

【解説】

戦国時代建立の禅宗様建築。天井墨書きから天文9年(1540)頃建立と推定されている。

大内義隆が周防(すおう)山口に建てた建物を安

國寺惠瓊(あんこくじえけい)が安芸安国寺仏殿として移築したと伝えられる。現存する禅宗様の建築としては規模の大きい遺構であり、繊細な禅宗様の手法を用いながら、容姿には雄大な氣風がうかがわれる、中世の本格的建物である。

不動院は、中世、安芸安国寺として安芸の守護大名・武田氏の信仰を得ていた。火災などで一時は堂塔の大半が失われたが、安国寺惠瓊が再建に尽力し、現存する建物の多くが惠瓊によって建てられたといわれる。江戸時代に禅宗から真言宗に変わり、寺号も宥珍(ゆうちん)が不動明王を奉じてきただので不動院と呼ばれるようになった。



※大内義隆(1507～1551)…防長(現在の山口県)を拠点とした守護大名。

※安国寺惠瓊(？～1600)…毛利氏の使僧。主に織田信長や豊臣秀吉との交渉にあたった。